ミニデイサービス便り

野外ミニデイサービス
～祖父江砂丘と祖父江善光寺ご開帳～

今年ミニデイの課題曲は、島崎藤村の「椰子の実」。ぜひ渥美の海を見ながら唄いたいという希望がありましたが、渥美半島までは遠く、かねてから祖父江の砂丘に行くことが約束されていました。

待ちに待ったその日、やはり「まごころ」には天気はいつも味方。見事に晴れ、利用者さんのご家族もボランティアを引き受けていただいて車に分乗、木曽川を観客に舞台へと向かいました。

想像をしていた砂丘とは程遠いものでしたが、木曽川の川面は素敵な景色をみせていました。

サンタルチア／椰子の実／アロハオエ／
月の砂漠／川の流れのように

の大合唱。ふと気が付くと、皆さんの顔は川に向かってではなく、渡された楽譜に向かっている。これでは、木曽川に向かって唄う意味がない。歌詞を見なくても唄える歌を次々に唄ってみる。ついでに、アロハオエを踊ってみる。

何だか訳が分からないが、気分は爽快？

昼食は緑地のベンチとテーブルを囲む。心地よい風と緑の木々に囲まれて、鳥の声がする。

おむすびがことのほか美味しい。

午後のひとときを、Ｔさんが奏でるハーモニカやＮさんが弾かれるピアノ「椰子の実」Ｍさんの歌「人生劇場」など、絶好の舞台で大張り切り。

ひと休憩後、輪になってダンス。音楽につられて小さな坊やが輪に入って下さった。

帰りに、50年振りのご開帳の最中の祖父江善光寺に寄ることになった。

もうこれは、皆さん大歓迎の大喜び。「こんなこと、もう一生ないわ」本殿に上がれない車椅子の方には、本殿前の「けむり」をスタッフが手で運んできてその方にふりかける。

足が弱っておられる方は、お賽銭をスタッフに頼まれる。思いもかけないご開帳に出会い、砂利道の暑さも我慢。

事務所に帰って、早速今日のビデオを大スクリーンに写して見る。自分の姿に大喜び。

「外に出る喜び」が伝わる１日でした。

平成15年６月のミニデイサービスは
事務所　３日・５日・10日・17日・19日・24日
保育園　12日・26日

五月勉強会から

講師・水野伊佐雄さん／「利用者から見たケアの心得」

利用会員の水野さんに、定例勉強会にて、障害について特性や対応の仕方、心得、また障害者福祉の経緯など、具体的に盛りだくさんにお話しをいただきました。

私達が普段どんなに不用意な発言や行動をしてしまっているのか、障害の特性以外には基本的なケア視点は同じであることを、改めて深く学びました。

また、「有償のサービスであることが、私達にとっては心おきなくお願いすることが出来て、大変嬉しい」と、対等な関係の助け合い活動への理解を率直に語っていただき、心から嬉しく思いました。

特性とその対応について学習から・・・

☆片マヒの人に介助する時は、杖をついていない方に手を貸す。

☆脳性麻痺の弛緩性マヒは、左右片側の上下肢の障害で力が入らない。リハビリや補装具の装着により自力又は杖の歩行が可能になる場合が多い。

☆脳性麻痺の痙性マヒは全身におよぶ場合が多い。

・痙攣、突っ張りがあり、不随意運動マヒで、自分の意志で手足の動きが制御出来ず、常時体の一部が無意識に動き、緊張したり慌てると一段とこの傾向がつよくなるため、点滴や各種の検査の介助は特別の注意が必要。

・言語障害が伴う場合が多い。

・手足の突っ張りは強いものがあり、危険のない限り、いきなり手を出さない。体を支えるときは後ろから。前からは反動で共倒れになるため。

～～～～～ある外科医の独り言～～～～～～～～～～～～～～

代替用法　　髙　勝義

癌による死亡率は年々増加し、最近では３人の内の１人は癌で亡くなるとされています。緩和ケア病棟を有する我が山下病院では、１年間に約２００名近い人が癌で亡くなります。

癌になる原因は食事や環境それに遺伝子の問題など様々であり、癌になるかならないかはその人の運命であるような気がいたします。従いまして、癌になったとしても諦める他ないのですが、悲しいかな生身の人間、なかなか諦めきることは出来ません。自分は今まで何も悪いことはしてこなかったのにどうしてとか、食事にも注意をし、タバコも吸わなかったのにどうしてとか、前世に何か悪いことでもしたためだろうとか色々考え、仕方がないと思えるようになるにはそれなりの時間が必要なようです。

幸いにも癌が早期に見つかり、何らかの治療が功を奏し、治癒したと医者から言われた時は癌という現実から離れることは出来ます。しかし、癌がすでに進行していたり、癌が再発して現代の医学ではこれ以上の治癒を期待できる治療法が無いとされたとき、患者さんやその家族の方々の思いは如何に悲しく、空しく、苦しいものか言い難いものがあると推測されます。何とかして病気がよくならないか、少しでも長生きすることは出来ないか、藁をもつかむ思いでありましょう。

インターネットという情報手段を用い、あるとあらゆる所から、癌に少しでも効くと思われる情報を探してまいります。アガリスク、何とかのエキス、鮫のなにがし、絶食療法、何とかの免疫剤、漢方薬、リンパ球療法、祈とう、おまじない、ゲルマニュウム等々の代替療法があります。

第４０回日本癌治療学会での報告によりますと、癌患者さんの約４５％の人々が何らかの代替療法を行っているとされております。当山下病院でも半数近い人が代替療法を併用していると思われます。これらの代替療法が現代医学の治療よりもよく効き、効果を期待していると信じている人はごくわずかなようです。

一方、それ程効果は期待していないが、何かしないよりはましだろうし、何かにすがりたい、ひょっとすると効果があるかもしれないと思って代替療法をしている人の方が多いような気がしております。分かってはいるが、何かにすがりたい、少しでも期待をしたいという悲しい私共人間の心が、痛いほど伝わって来るような気がしませんでしょうか。苦しむ人が何かにすがりたいという気持ちを大切にしながら毎日の診療を行ってほしいものです。

（山下病院　院長）

６月の予定

１日(日)	まごころ総会 定例会・勉強会 会報「まごころ」発行
３日(火)	ミニデイサービス　（場所・事務所）
４日(水)	サービス提供責任者会議
５日(木)	ミニデイサービス・ミニデイ定例会　（場所・事務所）
７日~９日	ホームヘルパー2級養成研修講座開催
10日(火)	ミニデイサービス　（場所・事務所）
11日(水)	サービス提供責任者会議
11日~12日	ホームヘルパー2級養成研修講座開催
12日(木)	ミニデイサービス　（場所・保育園）
16日~26日	ホームヘルパー2級養成研修施設実習及び同行訪問
17日(火)	ミニデイサービス　（場所・事務所）
18日(水)	サービス提供責任者会議
19日(木)	ミニデイサービス　（場所・事務所）
24日(火)	ミニデイサービス　（場所・事務所）
25日(水)	サービス提供責任者会議
26日(木)	ミニデイサービス　（場所・保育園）
29日(日)	ホームヘルパー2級養成研修講座終了式

～～～～～～～～～～～～～～